

桑原周辺地区土地利用基本構想

(H29年度資料より一部抜粋)

まちづくりの計画テーマと方針

テーマ

新たな取手の「求心力」を担う活力創造拠点づくり

～都市の便利さ・楽しさあふれる空間、活力を創出する新たな都市型交流拠点～

方針

地域が輝く活力拠点の創造

- ・複合商業施設など求心力・発信力のある拠点施設の誘導による広域交流拠点
- ・雇用を創出する企業環境の充実した活力拠点づくり

人の元気を生み出すウェルネスが実感できる空間づくり

- ・「スマートウェルネスとりで」の目指す健康志向のライフスタイルを提供するコミュニティ交流空間

中心市街地との連携を強化する公共交通ネットワークづくり

- ・環状線を活用した公共交通ネットワークの構築によるアクセス性の向上

都市の利便性と自然が調和した次世代に引き継ぐ環境空間づくり

- ・自然と調和した「憩い」と「交流」を体感できる空間づくり
- ・農地と連携した新たな都市空間で土と親しむ(環境に恵まれた)ライフスタイル
- ・市内農産物の販路拡大拠点として、生産者の意欲高揚と地産地消による消費者の農への理解と関心を深める交流空間の創出

地域の情報発信拠点づくり

- ・周辺地域の農業活性化に資する情報提供や直売、また、周辺に立地する企業のPR・アンテナショップ等、茨城県・取手市の情報発信拠点づくり

地区概要

取手市では桑原周辺地区を市の活力を生み出す重要な地域として、総合計画や都市計画マスタープラン等で

“新たな商業・業務施設の立地誘導を進める地区”と位置づけられ、取手市の求心力を高める活力創造拠点として期待されています。

国道6号をはじめ県内各地や東京・千葉方面と結ぶ道路が結節し、また、取手駅と結ばれる環状道路の整備により、自動車交通や公共交通でのアクセス性の向上から、開発適地としてのポテンシャルの向上が見込まれています。

そうしたことから、桑原地区では土地区画整理事業による市街地整備事業を計画しています。

地区面積

全体：約67.6ha

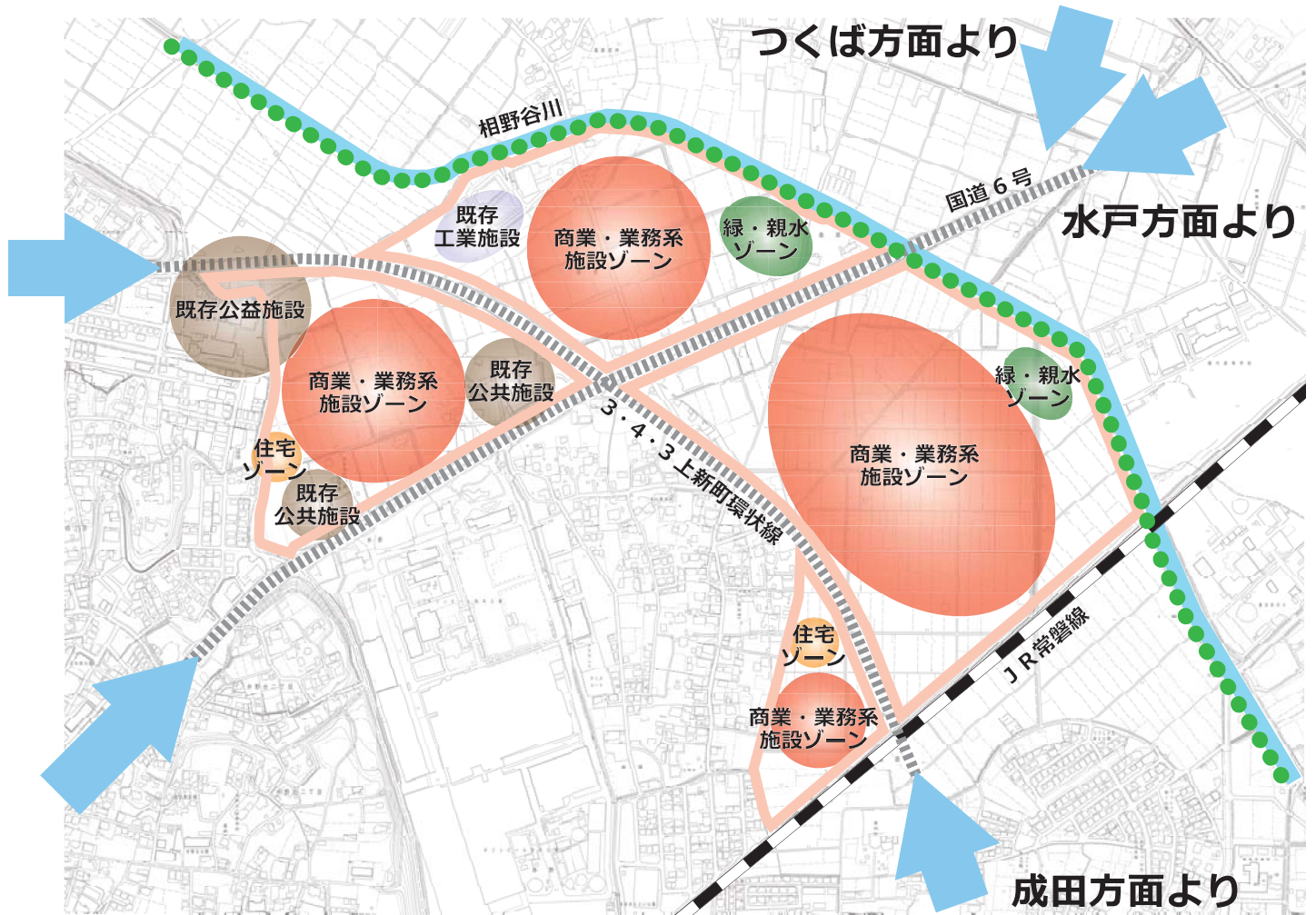
北側：約32.6ha

南側：約35.0ha



※地区面積については、平成29年の土地利用基本構想作成時点のものです。

将来土地利用ゾーニング図



土地利用の配置計画及び用途地域等の考え方

主な土地利用は、まちづくりの方針に基づき
「多くの人が集い、交流することができる複合施設の立地」
「商業・業務系の沿道サービス施設等の立地」
「新たな産業拠点としての土地利用の推進」
を目指していることから商業・業務系を基本とする。

商業・業務系施設ゾーン

このゾーンは、国道6号および（都）上新町環状線の幹線道路に接しており、広域圏を対象とした新たな都市型交流拠点創造のため、商業・業務系施設を大街区で配置する

緑・親水ゾーン

地区南北にそれぞれ公園を配置して施設用地による集客拠点と一体となった広場空間を形成し、隣接の田園空間、調整池、相野谷川の水辺空間を活用した緑・親水ゾーンを配置

住宅ゾーン

区域内の既存宅地の移転候補地として、既成市街地に隣接した住宅ゾーンを配置